

令和 7年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間・**最終**)

明德中学校区 校番 20 学校名 呉市立明德中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	授業改善の推進	① 主体的な学びを実現する授業づくり	指標①授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると考える生徒の割合が96.9%であり、目標値を上回った。引き続き、課題の解決に向けて自分で考える機会を多く設け、課題解決の力を向上させていく。 指標②学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直して、次の学習に繋げることができていると考える生徒の割合が96.9%であり、目標値の90%を上回った。各教科でのふりかえり学習が達成度をあげたと思われる。	指標①について、課題の解決に向けて、引き続き自分で考える機会を多く設け、生徒が課題解決に自ら取り組めるような仕掛けを増やしていく。 指標②について、各教科でのふりかえり学習を継続して行う。また、「学習フリータイム」の充実を図る。
**	自己有用感の育成と防災教育の深化	① 個を大切にした支援の充実 ② いじめを許さない学校環境づくり ③ 自分の命は自分で守る力の育成	指標①「自分にはよいところがあると思っている生徒の割合」は84.4%であり、目標値を5.6ポイント下回った。生徒同士が「よいところ」を交流する場面など自己肯定感が高まる活動を計画的に取り入れていく必要がある。 指標②「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う生徒の割合」、指標③「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う生徒の割合」、指標④「避難する場所や仕方について理解していると考えられる生徒の割合」はどれも100%であった。学級活動や総合的な学習の時間の取組の成果であると考えられる。	指標①に対しては、学校生活全体を通して、職員や生徒相互が肯定的に評価する場面を増やし、自己肯定感を高めていく。また、道徳科やSELの取組を更に充実させるために、今年度の振り返りと改善を行っていく。 指標②～④については100%を維持できるよう、今年度の取組を検証し、次年度につなげていく。
*	安心・安全な教育環境の整備	① 教職員による不祥事の根絶 ② 働き方改革の推進	指標①「日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合」は100%であり、目標値の90%を大きく上回った。 指標②「時間外在校等時間が月45時間以下の教職員の割合(3ヶ月平均)」は81.8%であり、目標の80%を上回った。 年度当初は、学級数減少による職員数減の影響もあったが、行事の反省を生かした取組やデータベース化、教職員からの業務改善に関する意見を反映させていくことで時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の割合が前期より改善した。	100%の教職員が「教職員で業務の手助けなど、互いに頼みやすい雰囲気があると感じている」といった「強み」を生かし、引き続き、「対話による風通しの良い職員室づくり」を基盤とし、各種の取組についてPDCAサイクルを効果的に取り入れながら職場環境の改善を進めていく。